



壱岐高便り

第129号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

落ちてゐるのは帰省子の財布なり

教頭 濱野 正義



先日、石田の筒城浜で、コース生25名、その保護者の方、里親の方そして本校教職員が一堂に会してコース交流会（バーベキュー大会）が行われた。生徒たちは肉を焼いたり、飲み物を運んだり、自分たちは座って食べることなく、「おもてなし」に徹していた。誰からも指示されることなくきばきと作業する姿に、久しぶりに会う離島留学生の保護者の方々は、わが子の成長ぶりに感動をされていたようである。間違いなく、この子たちは成長している。私はそう確信する。特に昨年私と一緒に壱岐高校にやってきた2年生は、いろいろな行事を共にしてきて、そう思う。その2年生9名と担任の山口先生がバーベキューのひと段落した頃、浜辺の方へ向かい一緒に写真などを撮っている光景を目にした。9名それぞれは、所属する部活動の中で普通コースの生徒たちとも、そして上級生、下級生とも切磋琢磨して自分磨きをしている。しかし、心が通じ合い最後に戻ってくる場所はこの6組なのだというのが、言葉を多くは交わさずに寄り添っている9名の姿から伝わってきて、私は学園ドラマの1コマを見ているようで心温まる思いがした。

そんな彼らにも、夏の帰省の時期が近づいている。どのような思いで帰省するのだろうか。

好きな俳句に『落ちてゐるのは帰省子の財布なり』というのがある。俳人、波多野爽波の句である。

たった17文字で「実家」の構造を的確に描き出している。座敷の隅に財布が落ちている。久しぶりに帰省した息子の財布だ。上着を脱いだときに、内ポケットから滑り落ちたのだろう。息子は疲れて昼寝中。拾った父親は、いつの間にか立派な財布を持つまでになった子の成長に感嘆し、子供は財布を落としたことにも気づかないほど、実家への最高の安堵感を示している。

しかし、このような句もある。『里心あはれうすれて帰省せり』

帰省の句には、故郷や実家の有難さや懐しさを詠んだものが多い中で、帰省が楽しいとは限らないと詠んだものである。私は幼い頃に両親を亡くし、「帰省」というものを経験したことがないので、十分に理解できていないのかもしれないが、句の内容を次のように解釈している。特別な理由などなく、何となく「里心」は薄れ、帰省が億劫になる。しかし結局は、待っている親を思う心で帰省する。こんな感じかと……。

里心が薄れることは決して悪いことではない、むしろ親からの自立の証なのではないだろうか。離島留学生たちもいつかこんな気持ちを持つのだろうかと考える。

同僚の先生たちに聞くと、3人に1人くらいは帰省したくないようなことを言う。もちろん、格別な理由など無いのだ。そこで私は先輩ぶって「お盆くらい帰ってあげなさい」などと言う。言いながら、この句を思い出したりもする。でも、「せっかくの夏休みじゃないか、とにかく帰省しろ」と私はこれからも言いつづけるであろう。

第 3 学 年 よ り

先日はお忙しい中、三者面談にお越し頂きありがとうございました。お子様の進路決定に向けて様々なお話と共に、日頃のご家庭の様子なども伺い、大変有意義なものとなりました。また、5日から9日までのインターンシップにも、保護者の皆様から多大なご協力を頂きありがとうございました。各事業所では、働くことの意義や意味を改めて学び、自己の職業観を明確にする充実した研修となったようです。

さて、いよいよ3年生の勝負の夏休みが始まります。クラスや志望ごとに動きは異なりますが、それぞれの進路実現に向けて努力を惜しまない熱い夏にして欲しいと思います。夏を制する者は受験を制する、とはよく言われますが、夏休みの過ごし方一つで2学期からの取り組みが変わってきます。自分の限界に挑戦する夏を、全員で乗り越えていきましょう！

第 2 学 年 よ り

70回生の生徒へ。2年の1学期が早くも終わった。君たちの長所である挨拶は、相変わらず気持ちがいい。早朝補習時に遅刻ギリギリに来る生徒はいない。新チームでの部活動に懸命に励んでいることは、みんな理解している。しかし、私たち大人が「最も重要で、戻りたい」と考えて止まない「17歳の夏」に君たちがもっと成長するため、次のことを考えよう。この夏を最高のものにしよう！

キーワードは「もっと広く深く」。2年の夏休みはまだ可能性を狭めない。自分の興味・関心を広げ、幅広い学校や就職先を調べると良い。そして社会で活躍出来る一人になるため、自分の知識や技術を深める。教科書に出る知識は社会の前提であって、現実社会はそれを大きく超えた答えのない問いばかりだ。じゃあ17歳の夏に君たちが出来ること、すべきことは、その教科書を読んで演習を積み、多少の応用をすることぐらいである。教科書レベルくらいは理解を深めて高得点を取ろう。部活動でも技術を深めてもっとうまくなれ！

誰もが最も懐かしむ「17歳の夏」が、君たちの人生に深く刻まれる夏になるよう願う。

第 1 学 年 よ り

71回生が入学し、3ヶ月以上が過ぎました。生徒の皆さん、保護者の皆様にとってはどのような1学期間であったでしょうか。いろいろな機会でお話してきたように、71回生の高い出席率には感心しています。しかし、成長すべき点も最近には目に付くようになって来ました。マナーや学習に対する姿勢の更なる向上を期待しています。夏季休業期間に入っても部活動が続き、また学習合宿も行われます。リフレッシュとともに、こういう時にしかできない弱点克服など、自分磨きに励むよう、ご家庭でご指導ください。最後に、1学期の諸教育活動に対するご理解・ご協力、誠にありがとうございました。2学期以降もよろしくお願いいたします。

東アジア歴史・中国語 コース

7月9日（土）、恒例のコース交流会（BBQ大会）が行われました。コース生とそのご家族、里親さん、コース関係の職員など、約90名が集結し、美味しい肉や魚を堪能しつつ、おしゃべりに花を咲かせて、楽しいひとときを過ごすことができました。

コース生は、これから夏休みにかけて、上海外国語大学での語学研修（1・3年生）、長崎外国語大学での語学研修（2年中国語専攻生）、島外の史跡巡検（2年歴史学専攻生）など、それぞれに貴重な経験を積む機会に臨む予定です。各研修に刺激を受けて、彼らがひと回りもふた回りも成長してくれることを期待したいと思います。



壱岐高Topics!

「長崎大学 高大連携授業」

7月2日（土）、長崎大学の先生方をお招きして高大連携授業が実施され、2、3年生全員が各学部に分かれて受講しました。

各講座では、学部の特徴や学びの内容が説明され、みな熱心にメモをとっていました。また、学問と社会の関わりや就職状況の話聞いて、進路について考える一助とすることができたようでした。

生徒たちは「大学選びの基準を知ることができた。」「将来のために人間性を磨くことも大切だと思った。」と語っていました。



「辰の島ボランティア」

7月2日（土）、辰の島周囲海岸の漂着ゴミの清掃活動ボランティアが行われ、壱岐高校生も多数参加しました。

当日は小雨がばらつき、風も非常に強く吹くなど、あいにくのコンディションでしたが、壱岐高生は島外の大学生や一般のボランティアの方々とともに、岩の間に挟まったゴミを集めたり、収集場所から渡船まで十数回もゴミ袋を運搬したりと、皆へとへとなりながらがんばりました。



8月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	月	学習合宿③(日田) コース歴史学巡検② 学習会①②
2	火	学習合宿③(日田) コース歴史学巡検② 学習会①②
3	水	学習合宿③(日田) コース歴史学巡検② 学習会①②
4	木	学習合宿③(日田) コース歴史学巡検② 学習会①②
5	金	学習合宿③(日田) 学習会①②
6	土	
7	日	全統河合塾マーク模試③ 第5回公務員模試③ コース国内語学研修②
8	月	全統河合塾マーク模試③ コース国内語学研修② 学習会①②
9	火	登校日(平和学習) コース国内語学研修②
10	水	夏季補習③ 家庭クラブ研究発表大会(長崎~11) コース国内語学研修②
11	木	【山の日】 学校閉庁期間(~16) コース国内語学研修②
12	金	閉庁日
13	土	
14	日	
15	月	閉庁日
16	火	閉庁日
17	水	
18	木	夏季補習①②③
19	金	夏季補習①②③
20	土	★①②③☆第2回体験入学(普通コース)
21	日	
22	月	授業日 開始式 課題テスト
23	火	授業日
24	水	授業日
25	木	授業日【特別時間割~9/3】
26	金	授業日 コース宿泊体験
27	土	★①②③ コース体験入学
28	日	
29	月	授業日
30	火	授業日
31	水	授業日 体育祭予行

生徒指導部より

明日から夏季休業に入ります。思うような1学期を過ごすことができましたか。慌ただしく過ぎた1学期でしたが、規則正しい生活を送っていますか。生活リズムや生活習慣が身に付くと、計画的に物事を進めたり、時間を有効に使えたりします。夏季休業中は生活リズムが崩れがちになりますが、目標達成にも必要なスキルですので、自分なりの生活リズムをしっかりと定着させましょう。

さて、「中学生・高校生の夏季休業中における生活指導について」というプリントが各ご家庭に配布されているかと思いますが、今一度お子様とともにご覧いただき、香岐高生らしい生活を送ることができよう、ご指導お願いします。特に、情報機器端末の普及に伴うトラブルが増加しております。LINEやSNS等の利用に関するマナーの向上、他者とのコミュニケーション能力の向上についてもお子様と話し合ってください。

生徒会・美化部より

7月1日放課後、新生徒会総務委員のメンバーが集まって、生徒会活動の活性化を図ることを目的とした研修会を行いました。職員による講義「生徒会活動の意義」の後、今年度の生徒会のスローガンを決める話し合いをしました。その結

果、平成28年度の生徒会スローガンは『Be creative～真の自律を目指して～』に決められました。香岐高生がより創造的・積極的に活動し、自律した生徒会を目指そうという意味が込められています。

今後の生徒会の活動が創造的・積極的なものとなるよう、生徒会総務委員会とともにさまざまなことにチャレンジしたいと考えています。

進路指導部より

三面面談を終え、今後の生活や学習の目標が定まり、意欲に燃えている人も多いと思います。香岐高の夏休みは忙しくもありますが、忙しさは「充実」の裏返しでもあります。

3年の就職志望者はインターシップの経験をふまえ、夏のアルバイトで自分の適性を見極めます。公務員希望者は福岡での講習会に参加し、9月の試験に向けた追い込みを行います。看護師志望の2年生は看護体験に参加します。オープンキャンパスに参加する人もいます。そして、1・3年生には学習合宿があります。1日10時間を越える学習で、自分の限界に挑戦してください。

学習以外にもみなさんが成長できるきっかけはたくさんあります。普段の学校生活ではできない体験をして、「充実した」と胸を張れる夏休みにしませんか？

ALTセリーナ先生コラム「世界に香岐ましょう！」

Hello. How're you doing? In this time's column I'll write only in English. (今回は英語だけ！)

I'd like to write about the biggest difference between Japanese and NZ schools.

The biggest difference I've seen is taking responsibility for your futures. In NZ high school begins when you are 12 or 13 years old. From when you are 15 years old you can stop going to school. Japan is similar because you don't have to go to high school.

When I was 15 years old, my favourite teacher told the class, "I don't care if you don't come to class. I don't care if you fail. I don't care if you don't get into university." It was our responsibility to do our best, to ask questions, and to get what we wanted.

In NZ you have a blank notebook. Listening and taking notes are the student's responsibility. Applying for university, applying for scholarships, applying for anything was our own responsibility. Our teachers gave us support for our subjects, but our futures were our own responsibility.

I think the students on Iki are so lucky. Your teachers work extremely hard for your sake. They give you worksheets and extra problems. They help you apply for universities, specialty schools and scholarships. They guide you on every step of the way. There is already a system of support without asking.

You are lucky to get such special treatment. I hope you appreciate your teachers and the staff at Iki High School. They work so hard for your sake.

I hope you take responsibility for your own futures and do you best!

Good luck. I hope I'll get to see you again.

セリーナ先生は今学期をもって退任なさいます。2年間ありがとうございました！

